



特集

守る伝統、つなぐ未来 ～「事業承継」という選択肢～

このまちで長年親しまれてきたお店や工場などの地場企業。その灯りを、次世代へとつなぐために「事業承継」という選択肢があります。今、このテーマは多くの経営者にとって、切実な課題です。

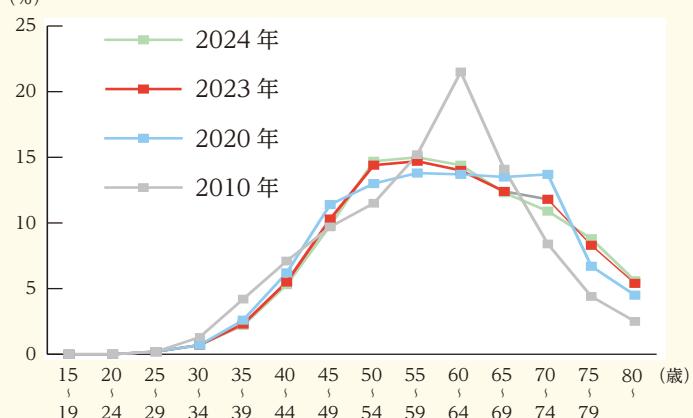
後継者不足は、経営者だけの問題ではなく、私たちの暮らしや地域のにぎわい創出にも深く関わっています。この特集では、市内で実際に事業を引き継いだ事業者の声や想い、事業承継の支援に取り組む支援機関などを紹介します。

事業承継とは

事業承継とは、お店や会社を引き継ぐだけでなく、長年培ってきた技術や信用、地域とのつながりを次の世代へ受け渡すことです。家族や従業員に引き継ぐ場合だけでなく、第三者へ事業をつなぐ方法もあります。

国の調査によると、全国的に中小企業経営者の高齢化が進んでおり、2023年時点での平均年齢は60.5歳と過去最高を更新。70代以上の経営者が占める割合も増加傾向にあります（図1）。長年地域を支えてきた事業が、今まさに次の世代へ引き継ぐ時期を迎えていることが、こうした数字からうかがえます。

【図1】年代別に見た、中小企業の経営者年齢の分布



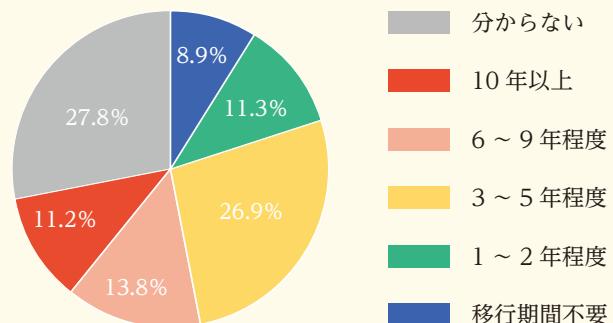
出典：2025年中小企業白書（2025年）

事業承継は早めの準備が大切

事業承継は、後継者を決めて終わりではありません。後継者の育成や引き継ぎの期間を含めると、承継が完了するまでに3年以上かかるケースが半数を超えることがあります（図2）。だからこそ、元気なうちから準備を始めることが、円滑な事業承継につながります。

「何から始めればいいのか分からない…。」そんな時に、専門的知見から力強くサポートする「支援機関」が水俣市にあります。

【図2】後継者への移行に係る期間



出典：帝国データバンク「事業承継に関する企業の意識調査」（2021年）



事業承継の専門家

水俣商工会議所

中小企業相談所長兼企業支援課長 経営指導員

倉本 博和さん



熊本県事業承継・引継ぎ支援センター

水俣・葦北地区担当エアーコーディネーター 中小企業診断士

田中 輝明さん

早めの準備が特に大切

「事業承継の準備は、早ければ早いほどよい。せめて3~5年前から始めてほしい。」そのことを、事業承継を考えている人に特に伝えたいです。事業承継には準備期間の確保がとても重要で、早くから取り組むことで選択肢が広がります。技術の引き継ぎがスムーズに進み、事業計画も立てやすくなるなど、多くのメリットがあります。

水俣商工会議所では、事業の引き継ぎが終わった後も経営面などの伴走支援を行っていますので、「何から始めればいいか分からない」という段階から、気軽に相談してほしいですね。

水俣・葦北地域の事業承継を進める

事業承継・引継ぎ支援センターとは、後継者不足に悩む中小企業に無料で専門的な相談・支援を行う国の公的機関です。主に訪問などを通じた事業承継の需要の掘り起こし、自分の足で集めた情報や、事業承継・引継ぎ支援センターの全国データを活用し、両者の最適なマッチングの推進などを行っています。

水俣商工会議所と合同で毎月第2金曜日に相談会も行っています。事業承継の専門家としての経験や知識を生かし、水俣・葦北地域の事業承継を力強くサポートしていきます。

Interview 実際に市内で事業承継を行った人に話を聞きました。

事業承継の準備期間

2022年の12月、知人から「博多製菓が閉業するらしいから引き継いでみらんね」と打診があり、地域で長年親しまれてきたパン屋さんを消失させたくない、と思い立ったことがきっかけです。水俣商工会議所に相談に行き、先代と引き合わせていただきました。約半年間の準備期間を経て、2023年8月に事業承継を完了し、店を再開しました。



「博多製菓」を承継した経緯

2022年の12月、知人から「博



博多製菓 店主
貝賀 克彦 さん

「変わっていかんといけんよ」

レシピを教わっている時に先代から「克彦、変わっていかんといけんよ。」と言われ、気持ちが軽くなりましたが、守るべき伝統は大切に引き継ぎ、時代に合わせて変化していくことをしながら、店をこれからも続けていきたいです。

譲り受けける人へメッセージ

レシピを教えてもらつたこと、設備をそのまま使用できること、取引先を引き継いだこと、地域に既にファンがいることは新規創業にはないメリットだと感じました。引き継いですぐの期間は、引き継ぎ元の意見を素直に聞くことが大切だと思います。

活用できる補助金があります。【水俣市活力ある地域商工業創造事業補助金】



水俣市役所産業建設部
経済観光戦略課
紙漉 煥

譲る人 50万円、継ぐ人 100万円 ※上限あり

市では全国的に珍しい「譲る人」と「継ぐ人」それぞれが利用できる補助制度を用意しています。利用については水俣商工会議所、事業承継・引継ぎ支援センターと連携をしていますので、

市 HP ▶

私たちがサポートします。気軽に相談に来てください。

**熊本県事業承継・
引継ぎ支援センター**

水俣商工会議所

**市経済観光戦略課
(市企業支援センター)**

水俣市大園町1-11-5 (平日9:00~17:00)

☎ 090-5825-5508 (水俣・葦北地区エリア担当)

※基本的に水俣には、(月)・(木)・(金)に滞在

水俣市大園町1-11-5 (平日8:30~17:15)

☎ 63-2128

水俣市浜松町5-98 (平日8:30~17:15)

☎ 62-0639

何も決まってなくても構いません。私たちと一緒に未来のことを考えていきましょう！

